

令和6年度



世界のウチナーネットワーク強化推進

沖縄文化芸能指導者派遣事業

報告書



沖縄県

1 事業趣旨

1-1 事業目的

「世界のウチナーンチュの日」に関連してイベント等を実施する海外県人会に対し、沖縄の持つ多様で魅力的な文化芸能の指導者を派遣し、その活動を支援することで、沖縄が持つ魅力を海外に発信するとともに、海外県人会と沖縄の繋がりを継承・発展・強化する。特に次世代への継承の観点から、若い世代の活性化や県人会への参加促進を促すような取組を支援することを目的とする。

1-2 事業内容

令和6年10月30日「世界のウチナーンチュの日」の前後に、海外県人会が主催する「世界のウチナーンチュの日記念イベント」に合わせて、沖縄から文化芸能の指導者を派遣することを通して、母県沖縄との絆を強め「世界のウチナーンチュの日」のイベント等について、海外県人会が主体的かつ継続的に取り組んでいけるよう支援する。

本年度の派遣先は次のとおり。

- ①フェイエットビル沖縄県人会（アメリカ／ノースカロライナ州）
- ②ペンサコーラかりゆしぬ会（アメリカ／フロリダ州）
- ③トロント球陽会（カナダ／トロント）

1-3 指導先県人会及び指導者

■総合コーディネーター 平田大一

【プロフィール】



1968年、沖縄県八重山郡竹富町小浜島生まれ。
2001年「きむたかホール館長」、2005年「那覇市芸術監督」を歴任、2011年「沖縄県文化観光スポーツ部長」に抜擢、2013年から4年に渡り「（公財）沖縄文化振興会」理事長に就任。2017年6月からはフリーランスの「沖縄文化芸術振興アドバイザー」として世界と沖縄をつなぐ活動を展開。当該事業では、現地県人会と派遣する指導者をつなぎ、より成果を高める演出的要素を担うコーディネーターとして尽力し、全ての国に同行。2021年、2022年のコロナ禍に於ても、オンライン指導及び報告会を実施した。国内はもとより海外県人会より絶大な信頼を得る、沖縄の文化・芸能界のフロントランナー。55歳。

派遣先県人会との連絡調整を通じ現地県人会の要望を把握、派遣指導員との連携を図りながら、ワークショップ及び指導プログラムの構成や進行の統括、また舞台やイベントの演出助言や企画提案など、幅広い専門知識と文化性を持った相互的なコーディネーターとして、平田大一氏を起用。今年度の派遣は、これまでの経験を活かし次世代のコーディネーター育成を目指した。

【経歴】

- ・元 沖縄県文化観光スポーツ部 部長 2011年4月～2013年3月
 - ・元 公益財団法人 沖縄県文化振興会 理事長 2013年6月～2017年6月
 - ・世界エイサー大会 会長兼総合演出 2013年～2017年
 - ・沖縄復帰50周年記念式典 特別アトラクション演出 2022年5月15日
 - ・美ら島おきなわ文化祭2022 閉会式総合演出 2022年11月27日
 - ・第7回「山の日」おきなわ全国大会2023 総合演出 2023年8月10・11日
 - ・FIBAワールドカップバスケットボール世界大会 アトラクション演出 2023年8月25日
- その他、役職・実績多数

■ネクストコーディネーター

ウチナーネットワーク構築を牽引するプロデューサーの次世代育成も図るため「ネクストコーディネーター制」を実施。平田大一氏を司令塔に（沖縄本島にて指示）、「次世代コーディネーター（海外現場にて実働）」を現地県人会に派遣。派遣する指導者と協力しながら県人会の要望に応えるとともに、今後ますます広がり期待できる県人会同士のネットワークの更なる横連携拡大に対応できる人財を確保した。

■ネクストコーディネーター 安田辰也

【プロフィール】



北欧のサーカス団のジャグリング(ピエロ役)として世界歴訪(1998年)、那覇市芸術監督(2011年～2015年) 沖縄県海外派遣事業にて演出家として遠征(2013年) 当該事業においてペルーとのオンライン指導(2021年) 実施経験あり。現在は糸満市福祉プラザすこやか館の館長として活躍、数多くの舞台演出、脚本を担当する。

■ネクストコーディネーター 上江洲安秀（龍神伝説）

【プロフィール】



うるま市の芸能団体で総長を務め、あらゆる世代の指導に定評あり。当該事業においては「シカゴ沖縄県人会」に指導者として派遣(2018年)、エイサーをはじめ、獅子舞、京太郎舞など幅広い芸能に精通。独自の努力で海外県人会とのネットワークを拡大している。FIBAバスケットボール世界大会2023開会式アトラクション・エイサー指導。

※フェイエットビル沖縄県人会では指導者を担う

■指導者 ペンサコーラかりゆしぬ会／具志堅州・具志堅快斗（創作芸団レキオス）

【プロフィール】

	<p>1998年旗揚げ。沖縄の地域芸能として親まれてきた獅子舞やエイサーを、曲のアレンジや創作により新たな舞台スタイルとして確立。沖縄県北部を活動の拠点とし、県内外に留まらず海外でも多く出演、振付・指導も行っている。世界エイサー大会三連覇。2019年の派遣実績あり。</p>
---	---

■指導者 トロント球陽会／新里直子（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場）

【プロフィール】

	<p>地域の豊年祭で踊り手として活躍した母から手ほどきをうけ、3歳より舞踊に親しみ、いつしか舞踊少女として話題に。出演依頼が相次ぎ、トゥシビー祝い・結婚式などで踊りを披露した。大学進学を機に玉城流玉扇会に入門。2000年に教師免許を取得し名護市に琉舞道場を開設。自身も玉城流玉扇会で稽古を重ねながら、北部地域の子どもたちの指導に尽力している。</p>
--	---

■指導アシスタント トロント球陽会／古堅莉乃（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場）

【プロフィール】

	<p>2003年2・3歳頃の時から新里直子琉舞道場へ通い始める。2017年12月に第52回琉球古典芸能コンクールにおいて新人賞受賞。新里直子先生をはじめ、先輩方にご指導頂きながら、数々の舞台へ立つ。2024年地域の豊年祭の指導を行う等、琉球舞踊を通して沢山の学びと経験を得ている。</p>
---	--

2 実施スケジュール

仕様書に基づく派遣先県人会を設定の上、企画コンペを行った。これと並行して海外県人会へ要望調査し、指導形態を含めた専門家の選定を行った。

派遣先が決定した後は概ねスケジュールに沿って実施した。

2-1 事業実施スケジュール表

工期：契約締結日～令和7年2月28日

	5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月	
	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬
会議等・他	委託契約締結	県/事務局打合せ	定例会議	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係	事務局/手配関係
打合せ業務内容	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ	業務・契約等打合せ
手配・連携・連携等	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出	契約書・同種書提出/申請関係提出
開催日					フェイエットビル沖縄県人会 7月20日 沖縄県人会エイサー披露会				ペンサコーラかりゆしぬ会 9月15日 OKINAWA FESTIVAL		トロント球陽会 10月27日 沖縄フェスティバル披露会				12月23日 派遣手帳オンライン シンポジウム2024					

2-2 事前会議

指導者派遣前、オンライン会議を行い、指導者や各県人会と情報共有やヒアリングを行った。

		
フェイエットビル沖縄県人会 6/26、6/28	ペンサコーラかりゆしぬ会 7/16	トロント球陽会 7/2、7/9

3 アメリカ・ノースカロライナ州フェイエットビル

3-1 事業概要

1) 指導先：フェイエットビル沖縄県人会

2) 県人会主催イベント名：沖縄県人会エイサー披露会

3) 日時：7月20日(土) 11:30～12:00

4) 指導内容：エイサー

5) 派遣メンバー

指導者：上江洲安秀（龍神伝説）

コーディネーター：安田辰也

6) 派遣期間：2024年7月16日(火)～7月23日(火)

7) 県人会概要：

1996年設立。「沖縄生まれ」であることを会員の条件としており、会員全員が1世である（2011年時点）。拠点があるフェイエットビル市は、「FORT BRAGG」と呼ばれ、規模の大きな陸軍駐屯地がある。恒例行事の新年会には300名ほどが参加。2006年に10周年記念祝賀会を開催し、400人余りが集まった。2017年に創立20周年祝賀会が開催された。近郊の様々なイベントから出演依頼があり、沖縄文化紹介、琉舞や三線を披露している。

8) 会場：John Fuller Recreation Center

3-2 アメリカ・ノースカロライナ州旅行行程

	月日曜	発地/着地	発着時間	行 程	食事	宿泊先
1	2024年 7月16日 (火)	那 覇 発 羽 田 着 羽 田 発 ニューヨーク着 ニューヨーク発 ローリー 着	11:00発 13:30着 18:30発 18:30着 20:49発 22:46着	(出国手続・通関・搭乗手続) 那覇発、AA8425便にて空路、羽田へ向け出発 羽田着 (乗り継ぎ) 羽田発、AA8496便にて空路、ニューヨーク (JFK) へ向け出発 ニューヨークJFK着 (荷物受取、乗継カウンターへ移動) ニューヨーク発、AA4499便にて空路、ローリーへ向け出発 (約2時間) ローリー/ダラム空港着 (入国審査、荷物受取) フェイエットビル沖縄県人会迎へ→ホテルへチェックイン	朝:× 昼:機 夕:機	フェイエットビル 泊
2	7月17日 (水)	フェイエットビル滞在	終 日	■「フェイエットビル沖縄県人会主催:イベント/エイサー指導・他」	朝:× 昼:× 夕:×	フェイエットビル 泊
3	7月18日 (木)	フェイエットビル滞在	終 日	■「フェイエットビル沖縄県人会主催:イベント/エイサー指導・他」	朝:× 昼:× 夕:×	フェイエットビル 泊
4	7月19日 (金)	フェイエットビル滞在	終 日	■「フェイエットビル沖縄県人会主催:イベント/エイサー指導・他」	朝:× 昼:× 夕:×	フェイエットビル 泊
5	7月20日 (土)	フェイエットビル滞在	終 日	■「フェイエットビル沖縄県人会主催:イベント/エイサー指導・他」	朝:× 昼:× 夕:×	フェイエットビル 泊
6	7月21日 (日)	ダラス 発 ロサンゼルス着	22:49発 23:40着	出国審査・搭乗手続 ダラスフォートワース発AA1644便にて空路、ロサンゼルスへ出発 ロサンゼルス空港着 搭乗手続	朝:× 昼:× 夕:×	空 港 内
7	7月22日 (月)	ロサンゼルス発	01:20発	ロサンゼルス発AA169便にて、空路羽田へ向け出発	朝:機 昼:機 夕:機	機 内 泊
8	7月23日 (火)	羽 田 着 羽 田 発 那 覇 着	04:30着 06:30発 09:10着	羽田着 (入国手続・通関→国内線移動) 羽田発、JL901便にて空路、那覇へ向け出発 那覇着 荷物受け取り～大変お疲れ様でございました	朝:機 昼:機 夕:×	

※発着時間等は天候、各関係機関の都合にて変更になる事があります。あらかじめご了承ください。
【航空会社】 JL=日本航空、AA=アメリカン航空

3-3 指導実施概要

フェイエットビル沖縄県人会

1) 実施概要

練習の仕方、基礎的な作法を伝授。今回の指導・練習の成果を披露し、10月の本番までに仕上げられるよう動画テキストを見ながら繰り返しの練習ができる環境も構築した。若い世代の入会が少ないので、エイサー活動が起爆剤となってくれることに期待が寄せられている。

2) 音源・振り付け動画作成

①オリジナルエイサーメドレー作成

仲順流り→久高節→テンヨー節→繁盛節→唐船ドーイ の5曲

唄三線：浦谷仁美

②振り付け動画作成

オリジナルエイサーメドレーに合わせ、前後確認できる振り付け動画を作成

演舞：上江洲安秀（龍神伝説）

	
大太鼓	パーランクー

③現地にて、ダイナミック琉球の振り付けを収録

パーランクー、締め太鼓、大太鼓の前後の踊りを練習用で作成し、県人会に共有した。



3) 指導の様子

	
<p>子供たちは本場のエイサーをみたこともないので受講後、アメイジング！等と感想が</p>	<p>パーランクーを嫌がっていた青年メンバーも指導者の言葉で意識が変わった</p>
	
<p>結び方なども指導</p>	<p>役員の皆様とプログラムを作成</p>

4) イベントの実施状況

①イベント名：沖縄県人会エイサー披露会

②主催者：フェイエットビル沖縄県人会

③来場者数：約65名

④演舞者：

フェイエットビル沖縄県人会受講者14名 マクダウエル雛
上江洲安秀（龍神伝説） 安田辰也

⑤プログラム：

1. 会長挨拶
2. ジャグリング～世界ウチナーンチュの日の説明 安田辰也
3. 講師自己紹介 上江洲安秀
4. エイサーメドレー披露 受講生
5. クラリネット演奏 マクダウェル雛
6. 講師&コーディネーター演舞（創作演舞御知行：安田辰也、獅子舞：上江洲安秀）
7. ダイナミック琉球、サーユイサモーレ 受講生
8. アンケートのお願い～終了

⑥イベントの様子

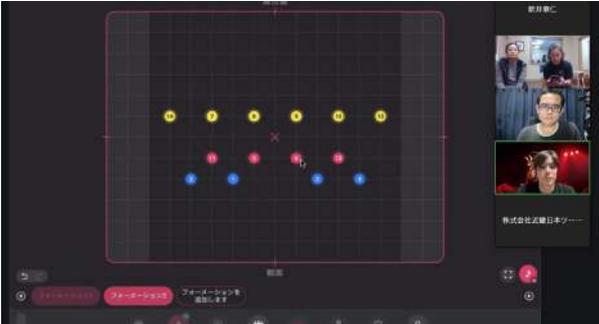
<p>様々なサポートがあってこの日を迎えた</p>	<p>指導者の言葉に士気が上がる</p>
<p>県人会の希望で指導した 「ダイナミック琉球」も披露</p>	<p>技術だけでなくエイサーへの想いも変わり 皆が自信を持って踊ることができた</p>

5) 「沖縄県人会エイサー披露会」後のオンライン指導

本番、世界のウチナーンチュの日イベントに向けてオンライン指導を行い、さらなるレベルアップを図った。

・実施日

8月31日 22:00~23:00 9月7日 22:00~23:00 10月19日 22:00~23:00

	
<p>基本やポーズの再確認</p>	<p>画像を使ってフォーメーションの確認</p>

6) 世界のウチナーンチュの日イベントでの発表

・実施日 10月27日 14:30~17:30

	
<p>イベントでの成長した姿</p>	<p>来場者と世界のウチナーンチュの日を祝った</p>

3-4 指導者帰国後の所感

■上江洲安秀（龍神伝説）

今回、フェイエットビル県人会へエイサー指導ということで希望された伝統エイサーの型を取り入れた『エイサーメドレー』をパーランクー演技と大太鼓演技で振り付けしました。

『エイサーメドレー』を県内外で活躍されている浦谷仁美氏へ楽曲構成、演奏、録音まで協力していただき、フェイエットビル県人会オリジナルの楽曲が仕上がりました。

希望されていた、七月エイサー・久高節・テンヨー節・繁盛節・唐船ドーイを取り入れ、今後のイベントでも長さを編集しやすいようにと浦谷仁美氏の思いも込めたメドレー曲となっています。

初日の練習では、基本動作のバチ回しや足上げなど崩れていた基礎を中心とした練習ではかなり苦戦していましたが、徐々に全体で呼吸を合わせながら一体感が生まれ課題曲の入りがスムーズに行うことができました。

途中からは、エイサーメドレーだけではなくダイナミック琉球も創作エイサーとして挑戦し締太鼓・パーランクー・大太鼓の3パートを練習しましたが、指導者が一人ということもあり振り下ろしには時間がかかった為、リーダーを設け各自パート練習を行うことが今後の動きとしても必要だと感じました。

エイサー披露では、これまでの県人会を支えてくださった先輩方やご家族・友人を招いてパーティーをしながら演舞披露を行いました。エイサーメドレーでは、故郷に帰ったかのような感動してくださる観客の方もいて、メンバーも感動していました。また、安田さんのお手玉と大太鼓を使ったリズム遊びを取り入れた自己紹介や御知行で一気に空気感を変える演舞で会場は大盛り上がりで、課題曲2のダイナミック琉球やサーユイサモーレで会場が一体感になり大成功で終わりました。

最後に、沖縄の芸能に触れて自身のルーツをもっと学びたい、沖縄の芸能をもっと深く知って発信していきたいという県人会の皆さんの言葉に凄く大切な事を学ばせてもらいました。今後の課題は多く残っていますが、繋がったご縁を大切にアドバイスを行いながら見守り続けたいと思います。

3-5 コーディネーター帰国後の所感

■安田辰也

フェイエットビル県人会の活動は、子育て世代のお母さん方が中心となり、家族全体の協力によって支えられていました。特に旦那様や20代の子どもたちが、練習の送迎や道具の運搬、会場設営などを担当し活動を支えています。このような家族の理解と協力があるからこそ、県人会の活動が長年続けられていることを実感しました。文化芸能の継承やウチナーネットワークの構築には、影で支える家族の存在が欠かせません。敬意と感謝の心を持って協力し合うことの重要性を学びました。

また、県人会の先輩方のご高齢でありながらも、現在の役員を信頼し、これまでの経験を伝えながら活動をサポートしています。91歳と86歳の先輩は、「見守ることが私たちの仕事」とし、毎日練習に立ち会い「この取り組みを通して、子どもたちに沖縄の文化を感じてもらい、自信を持ってもらいたい」と温かな笑顔で語り、また「沖縄県人会があったからこそ、私たちは助け励まし合い、強く逞しく生き抜いてこれた。」と教えてくれました。

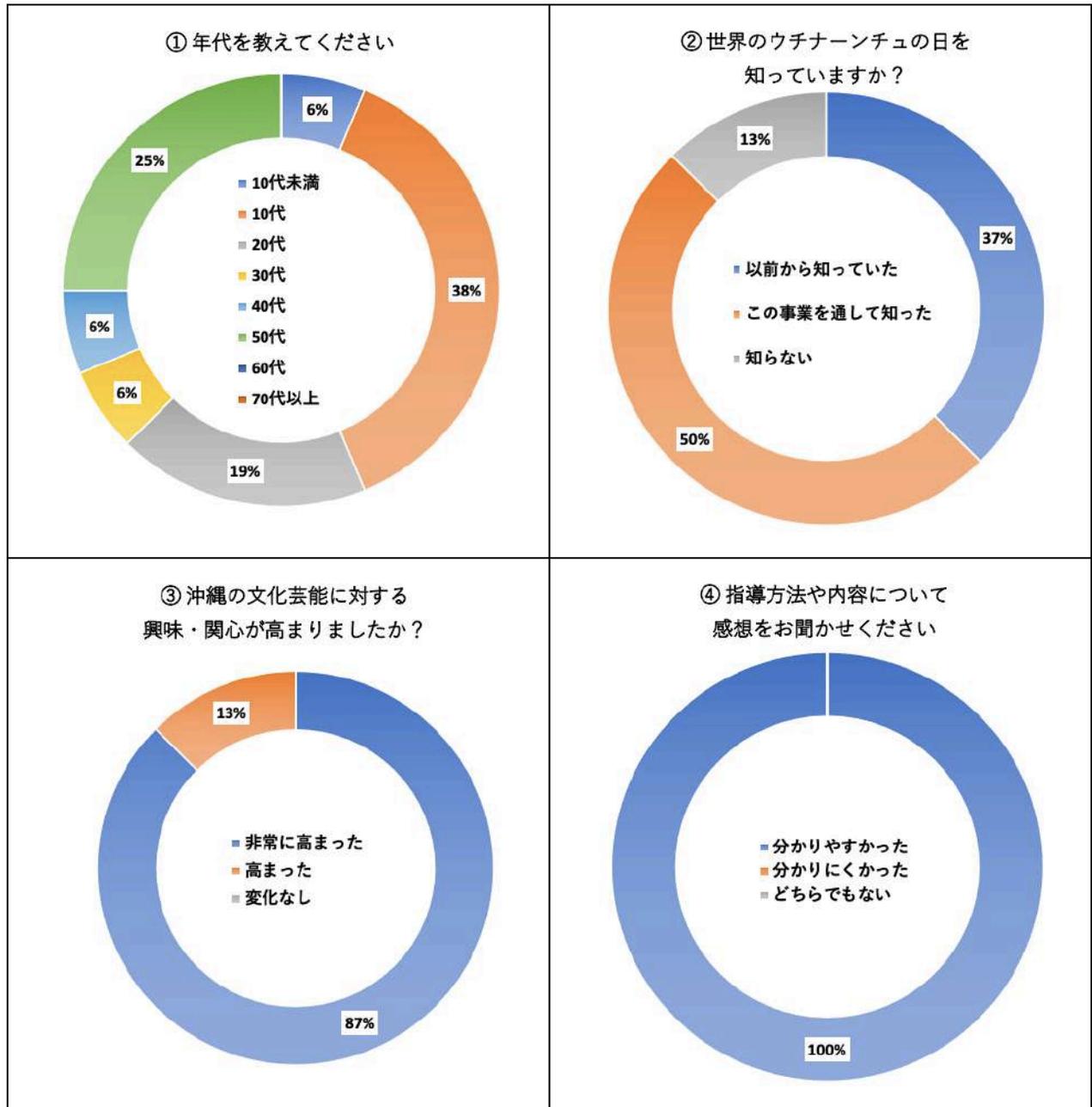
エイサー練習では、上江洲先生のわかりやすく楽しいレッスンで、基本の大切さと伝統エイサーの素晴らしさを伝えることができました。

当初、伝統エイサーを基調にしたパーランクー演舞に対して、締太鼓の男子メンバーは「小さい子のパートだから恥ずかしくて嫌だ」と拒否をしていました。上江洲先生が伝統エイサーの映像や重要性、自身の幼少の頃からの憧れや伝統の重要性を語り「エイサーメドレーはクール・ビューティーでいこう！」と呼びかけたことで、彼らは目を輝かせパーランクーの舞に真剣に取り組むようになりました。海外で伝統の素晴らしさを伝えることができた貴重な経験でした。

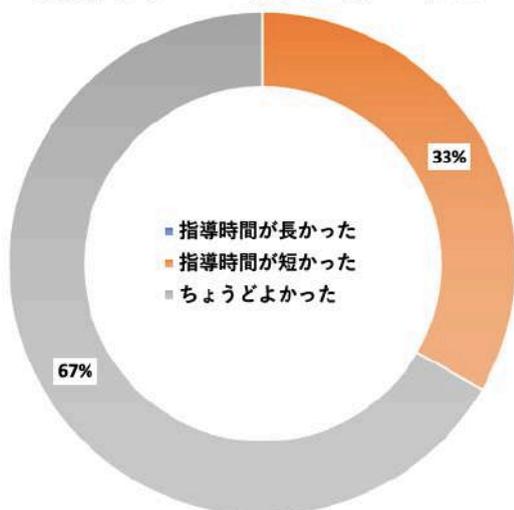
県人会の草創期の先輩方とご家族も参加し盛大に行われたエイサー披露会では、上江洲先生の「失敗を恐れるな！」との言葉に皆がチャレンジ精神で自信を持って踊ることができました。笑顔の手拍子、カチャーシーを共に舞い、涙を流す方、大感動の一日でした。今回の派遣では、世界のウチナーンチュを支えている多くの協力者がいることを知りました。その皆様との協力・連携こそ、本事業の目的である次世代への継承、若い世代の活性化や県人会への参加促進へ繋がる重要なポイントではないかと思えます。

3-6 アンケート結果

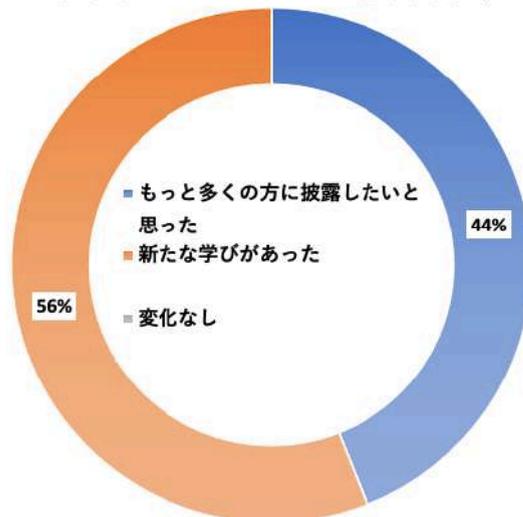
【受講者】 回答数：16名



⑤ 指導時間について感想をお聞かせください



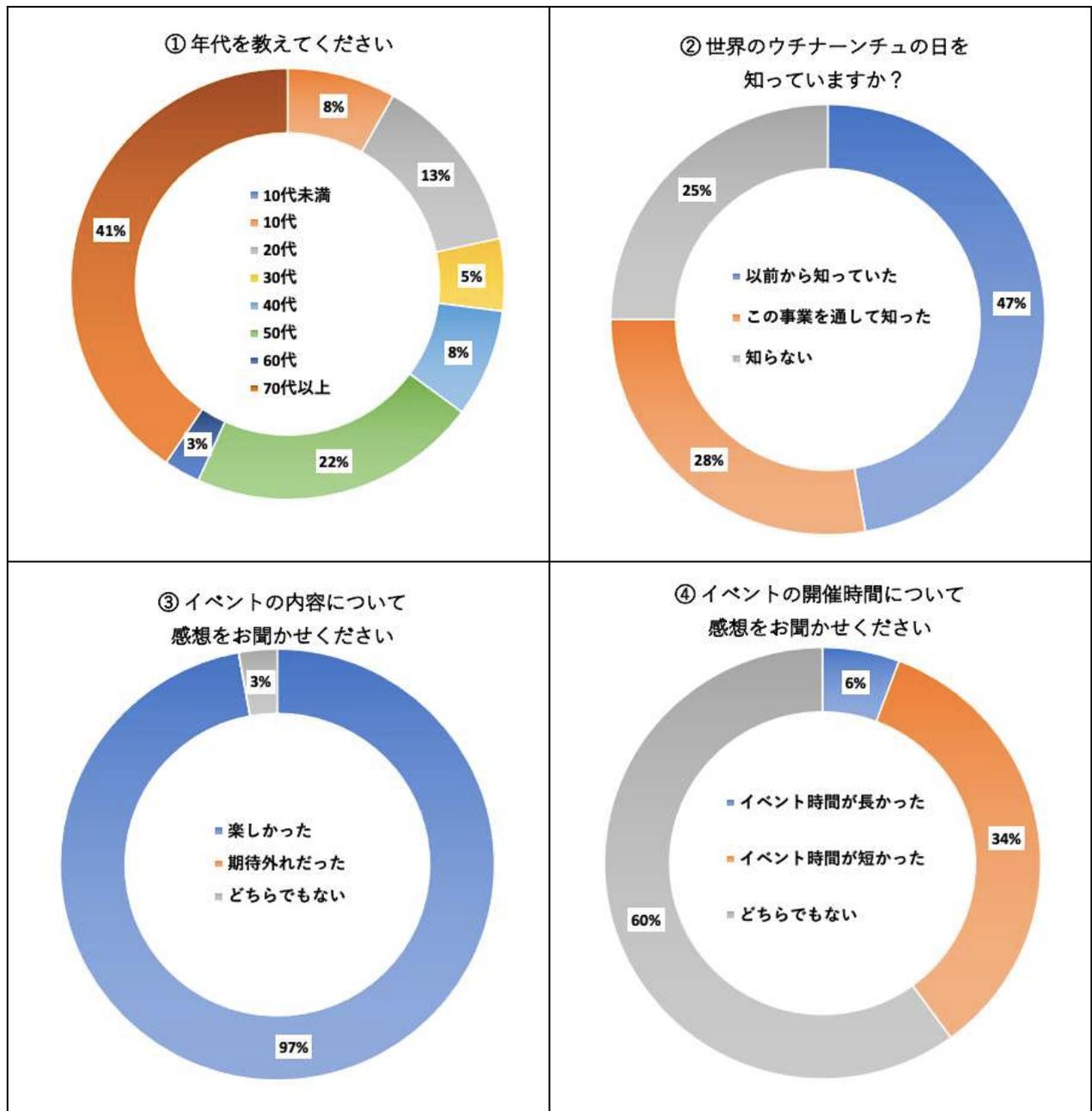
⑥ 指導を受けたことで意識の変化はありましたか？（複数回答可）



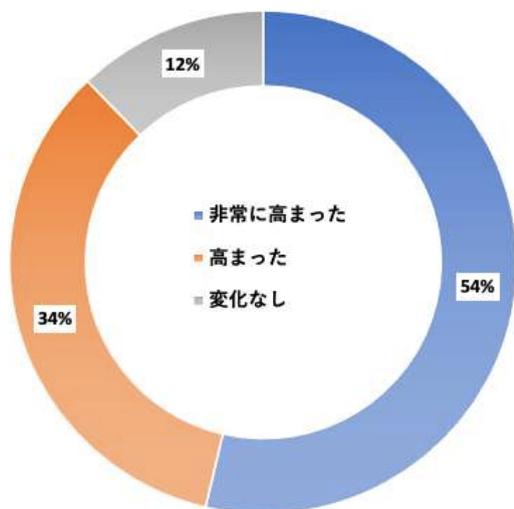
⑦ 一番印象に残っていること、本事業への要望や期待すること、その他の感想などがあれば自由に記載ください。（抜粋）

- ・丁寧な指導だけでなく、受講者のやる気を起こさせる指導に感謝です
- ・演出に関することも学べ、大変勉強になり、良い経験をさせていただきました
- ・沖縄文化を次世代、地域の人たちに紹介できるよう努めたいと思います
- ・事前打ち合わせで、日程調整・変更、振り付け、披露日段取り等しておくことが望ましいと感じました
- ・移動日含めて7日の日程で、練習日を7回設けなければならないというのは子供たちにもかなり負担になったと思います

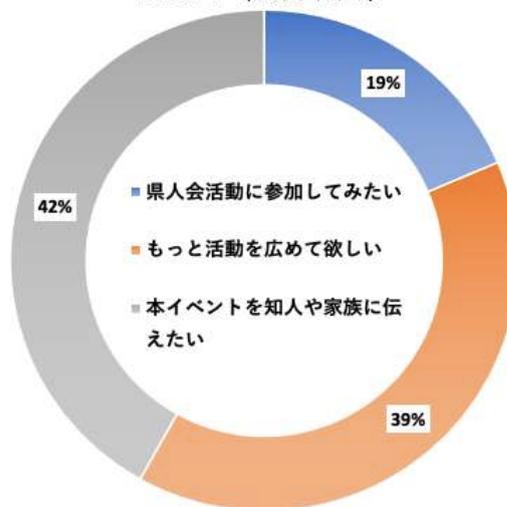
【来場者】 回答数：36名



⑤ イベントを主催する海外県人会の活動や沖縄の文化芸術について興味・関心が高まりましたか？



⑥ イベントに参加して意識の変化はありましたか？（複数回答可）



⑦ 一番印象に残っていること、その他の感想などがあれば自由に記載ください。（抜粋）

- ・若い人がたくさんいらっしゃるの本当に嬉しいです
- ・涙がこぼれました!とても良かったです
- ・とても感動いたしました。沖縄からのサポートありがとうございました
- ・沖縄の人達の素晴らしさを知りました

4 アメリカ・フロリダ州ペンサコーラ

4-1 事業概要

1) 指導先：ペンサコーラかりゆしぬ会

2) 県人会主催イベント名：OKINAWA FESTIVAL

3) 日時：9月15日(日) 12:00～16:00

4) 指導内容：エイサー

5) 派遣メンバー

指導者：具志堅州・具志堅快斗（創作芸団レキオス）

コーディネーター：上江洲安秀（龍神伝説）

6) 派遣期間：2024年9月11日(水)～9月17日(火)

7) 県人会概要：

1990年設立。会員相互の親睦と交流を促進し、沖縄文化の発展に寄与すること、地域社会との沖米親善に尽くすことが会設立時の目的。近年では古典的な琉球舞踊を学び、日本語や沖縄語を話すという交流を目的で参加する人が多い。フロリダ州の他、10州に会員がいる。

8) 会場：Fort Walton Beach High School

4-2 アメリカ・フロリダ州旅行行程

	月日曜	発地/着地	発着時間	行 程	食事	宿泊先
1	2024年 9月11日 (水)	那 覇 発 羽 田 着 羽 田 発 アトランタ着	13:15発 15:50着 23:25発 23:10着	(出国手続・通関・搭乗手続) 那覇発、JL910便にて空路、羽田へ向け出発 羽田着 羽田発、DL296便にて空路、アトランタへ向け出発 アトランタ着 空港内にて待機	朝:× 昼:機 夕:機	機 内 泊
2	9月12日 (木)	アトランタ発 デステイン着 フォート・ウォルト ンビーチ滞在	08:10発 08:13着 09:00頃 11:00頃 17:00頃	搭乗手続き アトランタ発、DL3051便にて空路、デステインへ向け出発 デステイン着 入国手続・通関・荷物受取り ベンサコーラかりゆしめ会迎え→Airbnb 会場下見 ■「ベンサコーラかりゆしめ会主催イベント又エイサー指導、他」	朝:× 昼:× 夕:×	フォート・ウォ ルトンビーチ
3	9月13日 (金)	フォート・ウォルト ンビーチ滞在	終 日	■「ベンサコーラかりゆしめ会主催イベント又エイサー指導、他」	朝:× 昼:× 夕:×	フォート・ウォ ルトンビーチ
4	9月14日 (土)	フォート・ウォルト ンビーチ滞在	終 日	■「ベンサコーラかりゆしめ会主催イベント又エイサー指導、他」	朝:× 昼:× 夕:×	フォート・ウォ ルトンビーチ
5	9月15日 (日)	フォート・ウォルト ンビーチ滞在	終 日	■「ベンサコーラかりゆしめ会主催イベント又エイサー指導、他」	朝:× 昼:× 夕:×	フォート・ウォ ルトンビーチ
6	9月16日 (月)	デステイン発 アトランタ着 アトランタ発	06:00発 08:11着 09:55発	出国審査・搭乗手続き デステイン発、DL3085便にて空路、アトランタへ向け出発 アトランタ着 (出国手続・通関・搭乗手続) アトランタ発、DL295便にて空路、羽田へ向け出発	朝:× 昼:× 夕:機	機 内 泊
7	9月17日 (火)	羽 田 着 羽 田 発 那 覇 着	13:10着 16:55発 19:30着	(入国手続、通関・荷物受取) 羽田着 羽田発、JL923便にて空路、那覇へ向け出発 那覇着	朝:機 昼:機 夕:×	

※発着時間等は天候、各関係機関の都合にて変更になる事があります。あらかじめご了承ください。
【航空会社】JL=日本航空、DL=デルタ航空

4-3 指導実施概要

ペンサコーラかりゆしぬ会

1) 実施概要

エメラルドコースト沖縄という団体があり活発に活動していて土台はあった。「サガリバナ」で創作芸団レキオスとのコラボレーションを希望しており、今回、指導者としての派遣が叶った。

2) 指導の様子

①派遣前に2回のオンライン指導を行った。

- ・実施日 8月31日 11:00~12:00 9月8日 10:00~11:30
- ・内容 顔合わせ、基礎練アドバイス、簡単な手合わせ等

②現地指導

	
基礎を中心に指導を行う	沖縄からやってきた獅子にも挑戦
	
ヘーシ（囃子）にも取り組んだ	練習と休憩のバランスをみながら指導が進む

3) イベントの実施状況

①イベント名：OKINAWA FESTIVAL

②主催者：ペンサコーラかりゆしぬ会

③来場者：1,057名

④演舞者：

エメラルドコースト沖縄 若竹館

具志堅州・具志堅快斗（創作芸団レキオス） 上江洲安秀（龍神伝説）

⑤プログラム：

1.かじゃで風

2.かりゆしぬ会 会長挨拶 ボロウス・聡美

3.NPO法人OKI 副会長挨拶 スーサ・アルバート

4.UWF（Universty of West Florida）挨拶 カタミ・テイラー

5.沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 内山知洋

6.エメラルドコースト沖縄

The Greatest Showman

久高節

風の結人

年中口説

7.もとぶ うどうてい 若竹館

8.創作芸団レキオス & 龍神伝説 スペシャルステージ

御知行

独り獅子

大獅子

唐船ドーイ ワークショップ

国頭サバクイ

9.沖縄空手（型：ジェシー・ボロウス／琉球古武道：ルティア・マイケル）

10.三線ステージ

安波節

童神

安里屋ユンタ

11.スペシャルステージ

サガリバナ（レキオス共演）

創作芸団レキオス 挨拶

ミルクミナリ（龍神共演）

地翔ドーイ

12.団体紹介&カチャーシー

⑥イベントの様子



緊張していたが曲が始まるといい表情に



初めて見る獅子に大きな歓声が上がった



念願のコラボステージ



涙を流す方もおりイベントは大成功

4-4 指導者指導後の所感

■具志堅州（創作芸団レキオス）

今回の指導は、時間が限られている中、短時間でとても良い仕上がりになったと思います。課題曲の「サガリバナ」は事前に予習していました。

チームの雰囲気はよく、自分達もすぐに馴染めました。やはり大事なのはコミュニケーションと基礎だと感じました。

基礎はキツイですけどみんなで励まし合い、楽しくできました。これからも続けて欲しいです。

沖縄フェスティバルでは、会場がまるで沖縄のような雰囲気になっていて不思議な気持ちになりました。そこで獅子舞を披露出来たことがとても良かったです。

一番はコーディネーターの上江洲安秀さんの力に色々助けてもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に指導を通して、自分達の今ある環境が当たり前のようになっています。初心を忘れずに感謝し、一つ一つ、ぬちかじり全力で挑もうと思います。

■具志堅快斗（創作芸団レキオス）

今回の事業では、ペンサコーラかりゆしぬ会の皆さまに、課題曲としていた「舞香花」やエイサーの基礎指導を通して、沖縄の文化・ルーツを伝えに行った。

エイサー指導の面では、指導を行う前から舞香花のふりを覚えており、短い指導期間ではあったが、とてもスムーズに指導開始を迎えることができた。しかし、基礎的な部分が足りていないと感じ、具志堅州やコーディネーターとして同行してくれた上江洲安秀とコンタクトをとり、稽古の進め方を決めていった。やはり、基礎練習は地味できつく、ほとんど行っていなかったようで、今回の事業を終えても今後のレベルアップのために稽古始めには必ず行うようにとアドバイスをを行った。また、エイサーを踊る中でレキオスとしても大切にしている「ぬちかじり」という気持ちの部分も伝えた。

指導を通しては言語の壁もあり、伝え方にとっても苦戦した。いつも以上に指導のスピードを落としてしまい、指導者として今後の課題がたくさんあった。

沖縄フェスティバル当日には、アメリカの地に沖縄という空間が生まれていて、多くの人の沖縄に対しての想いを感じられた。

イベントでは、沖縄から連れていった獅子舞の反響が大きく、初めて見るものに子供から大人まで喜んでくれた。単独演舞として踊った、国頭サバクイを3人で踊ることができてよかった。

みんなで行った合同演舞では、直前までみんなを確認を行ったりするのを見ていると、自分自身が立つ舞台では感じる事がなかった、いつもとは違う緊張感があった。しかし、そんな不安がいらなかったと感じさせるくらい、曲が始まるとみんな、一生懸命でとてもいい表情をしており、今までで一番のパフォーマンスであった。

まとめとして、今回の事業を通して、遠く離れたアメリカという地にも沖縄の伝統・文化が継承されており、とても感慨深いものであった。また、指導者として、県人会の皆さまに受け入れられ、言語の壁を感じさせないくらい密にコミュニケーションをとりに来てもらい、とても指導しやすい環境を作っていただいた。イベント終了後に、会場に来ていただいた方々からの言葉やSNS等での反響がとても嬉しかった。

今後も、このような事業を通して、沖縄が様々な地に受け入れてもらいたい。この事業の課題点としては、期間が短いことだと感じた。

4-5 コーディネーター帰国後の所感

■上江洲安秀（龍神伝説）

ペンサコーラかりゆしぬ会はボロウス・聡美会長を中心に、小学生から大人の方までエイサーや空手など普段からイベントに参加するなど活発的な活動を行っていました。

エイサーは、聡美さんのご息ボロウス・ジェシーさんが幼い頃に沖縄県本島で琉球國祭り太鼓ジュニアにいたこともあり、ペンサコーラではエメラルドコースト沖縄という団体を団長を務め普段からメンバーへの指導や振り付けでオリジナルエイサーの他、ミルクムナリや風の結人など演舞曲も多く下ろされていました。

今回、インストラクターの創作芸団レキオスの具志堅州団長や具志堅快斗さんにより課題曲「舞香花」を指導し、その中では基本動作も集中して稽古を行いました。しっかりと足で地面を噛む、四股を落とす、足上げなどキツイ練習があり公演ではヌチカジリ（一生懸命）踊ることが出来るという具志堅団長の言葉を励みに、皆さん時には苦しい表情を見せながら笑顔を絶やす目標へ向かっていました。故郷から遠く離れた地でも、演技力を落とさず沖縄の芸能を発信し続ける事がとても楽しく誇らしいと話していたジェシーさんからは同じ演者としてもプライドの持ち方を教わりました。

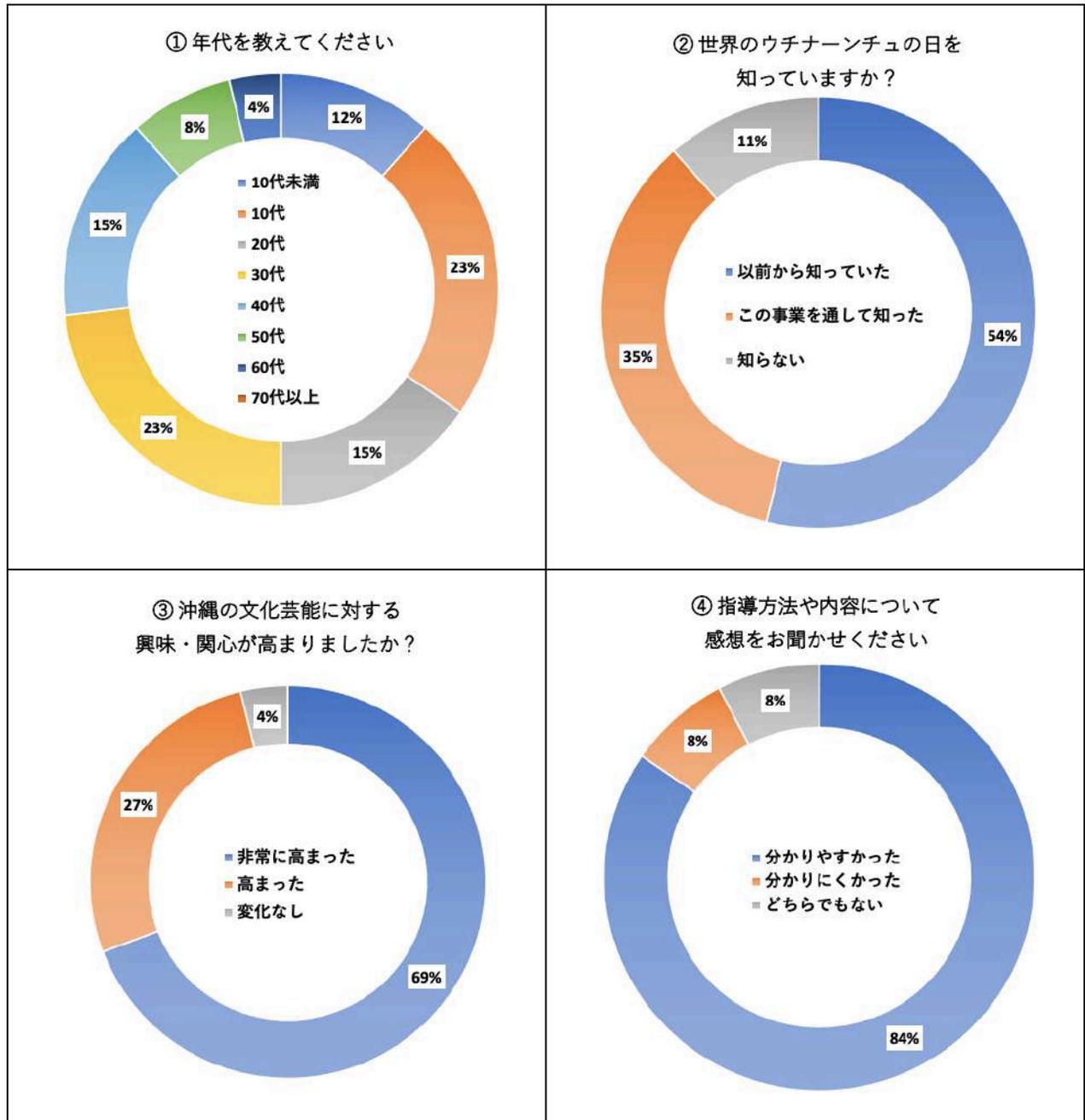
沖縄フェスティバルでは、エメラルドコースト沖縄のエイサーや空手で会場も盛り上がり、レキオスによる大獅子では獅子を見た事ない方や大きい獅子を見て泣きだす小さい子供たちもいて大きな歓声があがりました。

また、課題曲の「舞香花」ではレキオスとの合同演舞で会場はご来場の方には多く涙を流す方がいました。最後は唐船ドローで会場が一体感となり大成功で終わりました。

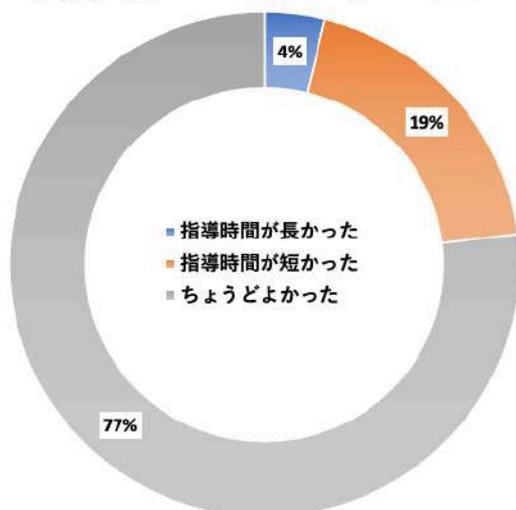
最後にペンサコーラの皆さんは凄く活発的な活動の中、人との繋がりを凄く大切にしているコミュニティだな感じました。まだ県人会としての活動歴は短いですが、人との繋がりが深く沖縄フェスティバルを開催するにあたり多くの友人や企業に開催を支援依頼を行っていました。イベントでは沖縄一色にしたいと、沖縄フードトラックやフェイスペイントなど多くの友人が聡美会長やメンバーの思いを受け協力し、友人を呼び、会場には多くの方が足を運ばれていました。これからの、ペンサコーラかりゆしぬ会とエメラルドコースト沖縄の皆さんの活躍に期待していきたいと思います。

4-6 アンケート結果

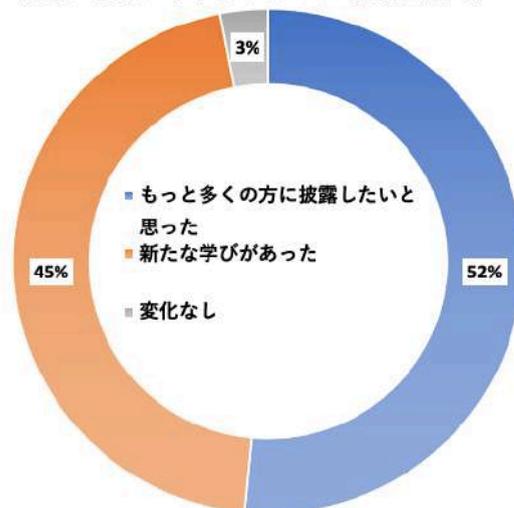
【受講者】 回答数：26名



⑤ 指導時間について感想をお聞かせください



⑥ 指導を受けたことで意識の変化はありましたか？（複数回答可）



⑦ 一番印象に残っていること、本事業への要望や期待すること、その他の感想などがあれば自由に記載ください。（抜粋）

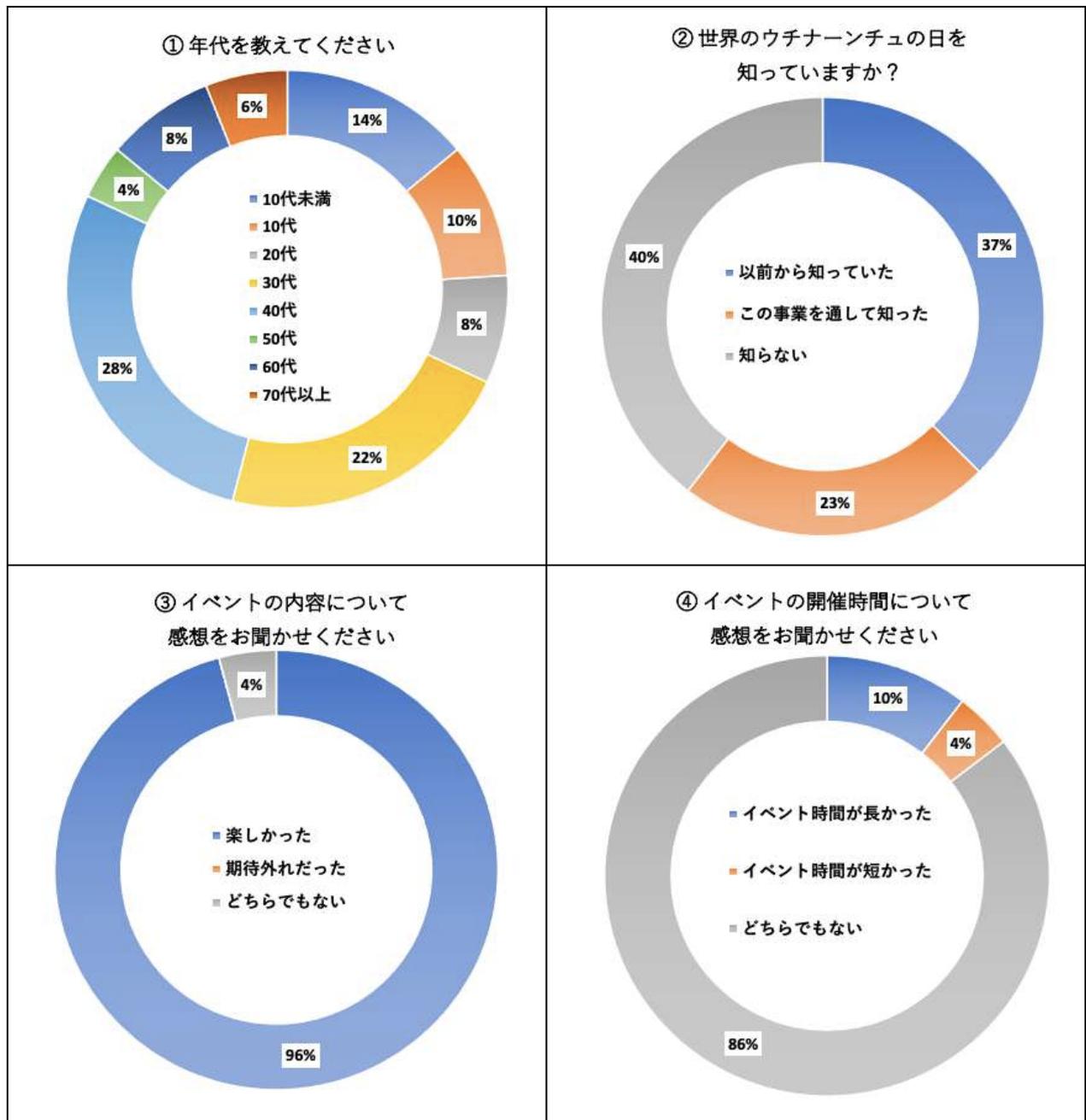
・獅子舞が最高だった！

・ホームシックの方がたくさんいますが、このイベントが彼らの精神的なサポートになったと思います

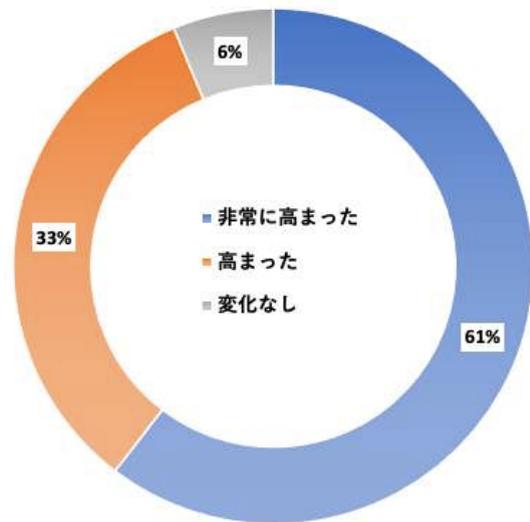
・私は沖縄に行ったことがなく、エイサーもここで初めて見て始めたので、本場の指導を受けたことがとても嬉しく、私の宝物のような時間です。これからも学んだことを忘れずにがんばりたいです

・沖縄の文化を少しでも多くの人に知ってもらうことができて本当によかった

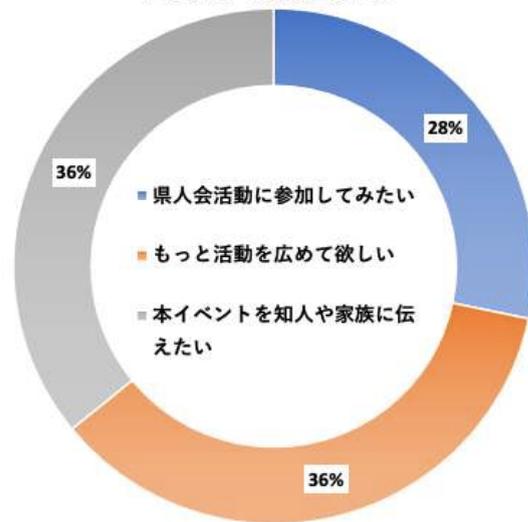
【来場者】 回答数：48名



⑤ イベントを主催する海外県人会の活動や沖縄の文化芸術について興味・関心が高まりましたか？



⑥ イベントに参加して意識の変化はありましたか？（複数回答可）



⑦ 一番印象に残っていること、その他の感想などがあれば自由に記載ください。（抜粋）

- 本当に感動して、太鼓の一発目の音、皆さんの笑顔、かわす心で涙ができました。また是非来てください
- パーランカー作りの体験がすごくよかったです。子供たちも楽しく参加できました
- 沖縄に帰った気分になりました。改めて沖縄県民で良かったなーと思えました。素敵なイベントをありがとうございます。

5 カナダ・オンタリオ州トロント

5-1 事業概要

1) 指導先：トロント球陽会

2) 県人会主催イベント名：沖縄フェスティバル披露会

3) 日時：10月27日(日) 13:00~16:00

4) 指導内容：踊り・三線など

5) 派遣メンバー

指導者：新里直子・古堅莉乃（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場）

コーディネーター：上江洲安秀（龍神伝説）

6) 派遣期間：2024年10月23日(水)~10月30日(水)

7) 県人会概要：

1970年設立。構成メンバーは1968年以降の技術移民として渡加した新移住者が主である。その大半は30歳前後と若かったため、団結力が強く、活動も活発だった。1、2世と新移住者が交流する発端になったのは、1988年3月の親川徳助さん100歳の誕生会で、当時の県知事や名護市長からの祝いの品を見て、参加者はウチナーンチュの絆の一端を知った。1980年以降、新移住者の大半は帰郷しており、会員間の親睦と相互扶助が基本である。

8) 会場：Momiji Health Care Society

5-2 カナダ旅行行程

	月日曜	発地/着地	発着時間	行 程	食事	宿泊先
1	2024年 10月23日 (水)	那 覇 発 香 港 着 香 港 発 ト ロ ン ト 着	09:00頃 11:30発 13:10着 17:55発 21:05着	(出国手続・通関・搭乗手続) 那覇発、CX5821便にて空路、香港へ向け出発(約2時間40) 香港着 香港発、CX826便にて空路、トロントへ向け出発(約15時間) トロント(ピアソン)着 入国手続・通関・荷物受取⇒トロント球陽会迎え⇒Airbnb	朝:× 昼:機 夕:機	トロント泊 (Airbnb)
2	10月24日 (木)	トロント滞在	終 日	場所:Bedford Park Public School 時間:15:30~16:15 対象:小学生 人数25名	朝:× 昼:× 夕:×	トロント泊 (Airbnb)
3	10月25日 (金)	トロント滞在	終 日	場所:池端ナーサリースクール 時間:10:30~11:30 対象:4~5歳 人数20名 場所:モミシ 時間:13:00~14:30 内容:ゲストとして出演 人数100名予定	朝:× 昼:× 夕:×	トロント泊 (Airbnb)
4	10月26日 (土)	トロント滞在	終 日	場所:トロント日本語学校 時間:10:45~11:45 対象:4歳~14歳 人数100名予定 場所:日州学院 時間:12:55~14:30 対象:小学生34名・中学生12名	朝:× 昼:× 夕:×	トロント泊 (Airbnb)
5	10月27日 (日)	トロント滞在	終 日	「トロント球陽会主催:本イベント又は琉球舞踊・三線指導」 会場:【モミシヘルスケアソサエティ】借用時間【9:00~17:00】 開場:【12:00/イベント13:00-15:00/片付け17:00】 住所:3555Kingston Rd Scarborough,ON M1M 3W4	朝:× 昼:× 夕:×	トロント泊 (Airbnb)
6	10月28日 (月)	トロント滞在	半 日 22:30頃	場所:モミシ老人ホーム 時間:10:00~12:00 振り返りを含めた、意見交換会など。 終了後は、出発までの間、フリータイム トロント球陽会見送り 出国審査・搭乗手続	朝:× 昼:× 夕:機	機 内 泊
7	10月29日 (火)	トロント 発	01:35発	トロント(ピアソン)発、CX0829便にて空路、香港へ向け出発 ※機内泊となります		
8	10月30日 (水)	香 港 着 香 港 発 那 覇 着	05:25着 07:35発 11:05着	香港着 香港発、CX5820便にて空路、那覇へ向け出発 那覇着 荷物受け取り〜大変お疲れ様でございました	朝:機 昼:機 夕:×	

※発着時間等は天候、各関係機関の都合にて変更になる事があります。あらかじめご了承ください。

【航空会社】CX=キャセイパシフィック航空、UO=香港エクスプレス【宿泊先住所】AIRBNB 123Hillsdale Ave E, Toronto ON M4S,Canada

5-3 指導実施概要

トロント球陽会

1) 実施概要

会員間の親睦は行ってきたが、沖縄の伝統文化芸能の継承はなく、今回はゼロからの指導となった。文化芸能を取り入れたことで若い世代のコミュニティ参加や、今後はエイサーチームの発足なども期待される。

2) 指導の様子

①派遣前に3回のオンライン指導を行った。

・実施日

オリエンテーション 9月26日 9:00~9:45

オンライン指導 10月5日 10:00~10:45 10月19日 10:00~10:45

	
<p>指導前にオリエンテーションを行った</p>	<p>基本動作のほか 現地指導に備え自宅での練習方法をアドバイス</p>

②現地指導

	
<p>保育園などでワークショップを実施</p>	<p>全員初心者のゼロからのスタート</p>
	
<p>しっかり基礎・基本に取り組む2名の受講者</p>	<p>細かい所作まで指導ができた</p>

3) イベントの実施状況

①イベント名：沖縄フェスティバル披露会

②主催者：トロント球陽会

③来場者：約200名

④演舞者：

トロント球陽会受講者2名、空手4名、トロロ3名、ウクレレ1名、唄者1名、MC1名
 新里直子・古堅莉乃（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場） 上江洲安秀（龍神伝説）

⑤プログラム：

- 1.踊いクワデーサー 新里直子琉舞道場
- 2.修道館ファミリー空手センター 空手
- 3.独り獅子 上江洲安秀
- 4.芭蕉布 日本音楽
- 5.遊び庭 トロロ+ユミさん
- 6.ていんさぐぬ花 トロロ
- 7.安里屋ユンタ トロロ+尺八+津軽三味線+セイコさん
- 8.島人の宝 トロロ+ウクレレ+ピアノ
上江洲スピーチ
- 9.田舎空手道場 空手
- 10.ダイナミック琉球 エイサー
- 11.かせかけ 古堅莉乃さん
- 12.上り口説 新里花野さん
- 13.貫花 新里直子先生
新里直子先生スピーチ
- 14.浜千鳥 新里直子先生+藤田みどりさん+メアリー林さん
- 15.谷茶前 古堅莉乃さん+新里花野さん
- 16.唐船ドローイ 出演者+ボランティアスタッフ
- 17.団体紹介 全員
- 18.会長スピーチ ケンデイビスさん

⑥イベントの様子



県人会役員による手書きの垂れ幕



様々な共演が実現した



しっかりと最後まで踊ることができた



予想以上の来場で感動のステージとなった

5-4 指導者帰国後の所感

■新里直子（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場）

●反省点

- ・事前ミーティングが少なかった。
- ・トロント側との連携をもっと。
- ・受講者が少なかった。（募集、PRの問題と感じた）
- ・稽古日数が二日間しかなく、受講者に申し訳なかった。
（スケジュール調整をしっかりすべきでした。その日の夜によるに翌日の確認、ミーティングで、毎晩徹夜でした）
- ・本来の目的より、ワークショップが多かったような気がした。
（でも、反応や、学校、施設でとても喜ばれて良かった）
- ・ホームステイは欲しかった。
- ・県人会の皆さんとの交流、今回のイベントについての意見交換会の場が欲しかった。
- ・本番のイレギュラーが多くて、大変だった。（出演者とのミーティングが必要でした）
- ・指導者は、3名は必要だと思いました。

●良かった点

- ・受け入れて下さった事には心から感謝です。
- ・県人会会長はじめ、実行委員会の皆さん方の協力とおもてなしに感謝です。
- ・イベント会場（もみじホール）は良かった。
- ・協力出演者が多く、沖縄らしさが出て、思った以上に楽しめたと思う。
- ・小橋川先生の取材が沖縄に何度か発信され、とても良かった。
- ・沖縄を懐かしく思い、声かけをしてくださり、沖縄を誇りに思っ下さる方が私たちの訪問を歓迎して下さりとてもうれしかった。
- ・コーディネーターの上江洲さんにはとても助けられました。指導者として一緒に行動でき、イベント者としても最適人でした。

●今後の

- ・ゼロからのスタートで、私の勉強不足もありましたが、今後継続できることを願います。
- ・トロント県人会に、後継者を育てたい！

お世話になりました。貴重な体験をありがとうございました。

■古堅莉乃（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場）

まず初めに、今回のトロント派遣事業で直子先生のアシスタントとして参加して、私自身が初めての海外ということもあり、言葉の難しさなど不安な部分もありましたが、コーディネーターの上江洲さんはじめ、直子先生、花野さん、トロント球陽会の方々にも沢山お世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。

ワークショップや指導からイベント本番までトロント現地の方々と交流ができ、ケン会長はじめ、前会長やトロント球陽会の方々、また受講者の皆さんとコミュニケーションを取り、沖縄への想いも色々な場面で聞くことができました。そして、受講者の皆さんとはお稽古から舞台に立つまで、一緒に楽しく踊ることができ、素晴らしいイベントへ一緒に携わることができ、短い期間ではありましたが、とても貴重な時間を過ごすことができました。そして、イベント終了後のお見送りの際には、お客様からの「沖縄を思い出すことができた！ありがとう」など、他にも心温まるお言葉を頂き、トロントで沖縄芸能を指導し、ウチナーンチュの日イベントで披露できたことに私も嬉しい気持ちになりました。

指導を通して、沢山のことを学ぶ中で、自分自身まだまだ未熟な部分もあり、反省点や課題点も沢山見つけることができました。トロント球陽会の方々、受講者の皆さんの色々な姿を見て、私も刺激を受け、改めて琉球舞踊、踊ることの楽しさだったり、沖縄の文化の大切さ、受け継いでいきたい！という思いを強く感じることができました。沖縄の文化や芸能を通して、多くの方と繋がり、多くの方へ届けていけるような人でありたいと思いました。今回の経験ができたことへ感謝し、これからも日々のお稽古へ励んでいきたいです。ありがとうございました。

5-5 コーディネーター帰国後の所感

■上江洲安秀（龍神伝説）

トロント球陽会は、設立から約50年と歴史も長く続くコミュニティでこれまでには新年会やピクニックで移住してきた方や、2世や3世と世代で交流を続けてきたが現状としては、沖縄の伝統文化など継承がなく伝統文化を取り入れ若い世代のコミュニティ参加率を上げたいというイメージでした。

今回の派遣事業で、琉球舞踊家の新里直子琉舞道場より師範の新里直子先生、古堅莉乃さんのお2人が参加し、現地で新里直子先生のご家族でもある新里花野さんの3名で現地へ派遣される前に、9名の方へオンライン指導で『浜千鳥』のレクチャーを行いました。実際に現地では受講された皆さんの成果披露日の日程も合わず藤田みどりさん、メアリーリムさんの2名の方へ基礎・基本をしっかりと教えていました。

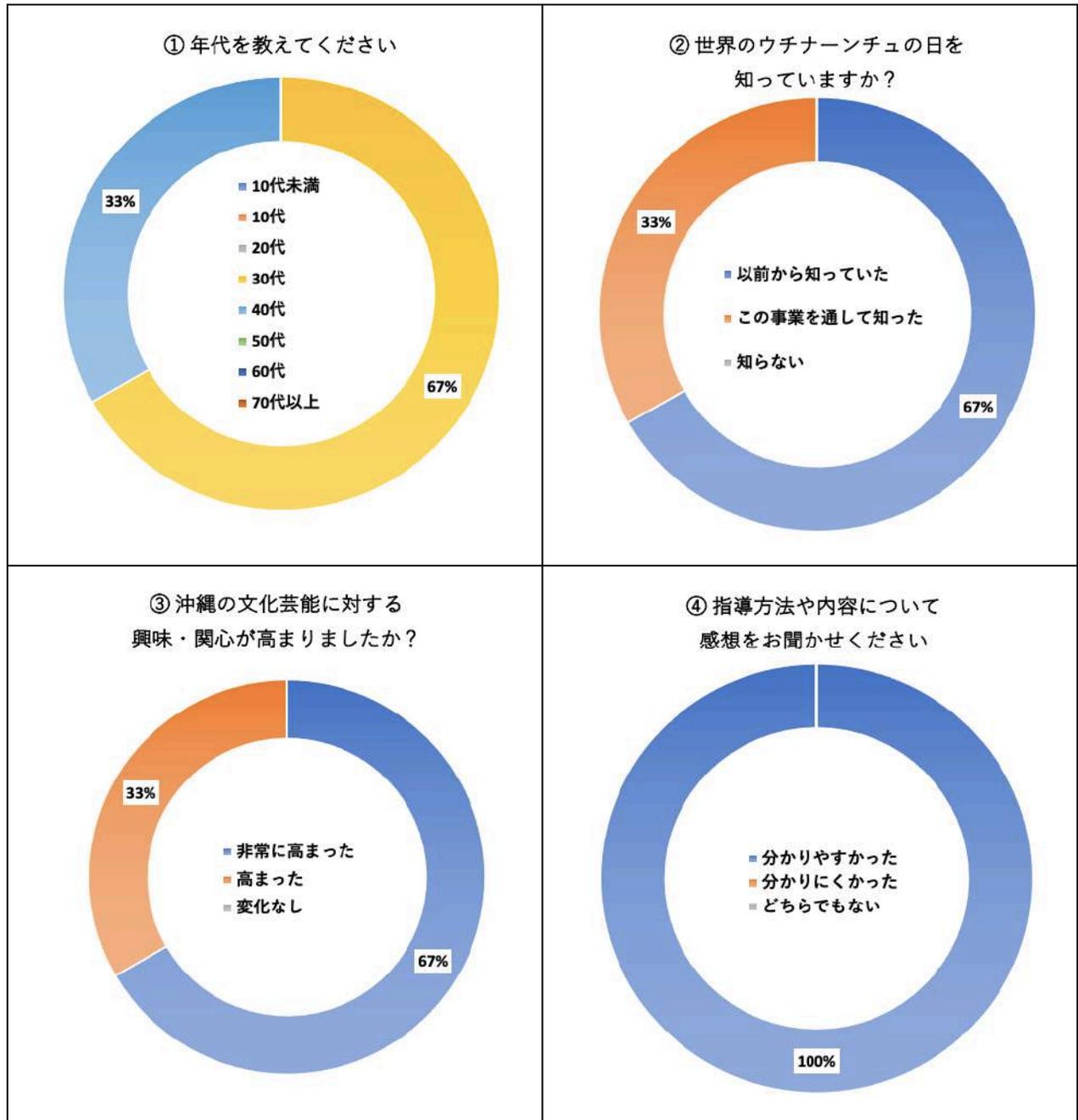
直子先生の『浜千鳥』の遠く離れた地で故郷を想う心情を、浜辺で泣く千鳥のようにとという意味も受講者にも丁寧に説明し、家族を想う心はいつまでも一緒だねと話されて感動するシーンも稽古の中から見られました。

トロント球陽会以外にも、現地の保育園や介護施設にも出向き地元沖縄の説明や琉球舞踊を年齢別にプログラムやワークショップを行い老若男女楽しまれていました。

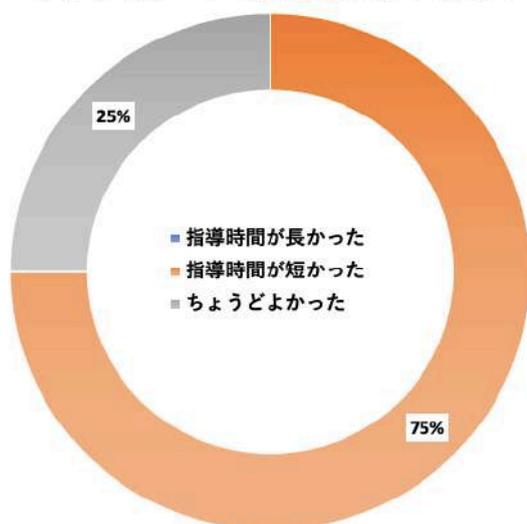
これまでの長い歴史がある球陽会も、今までに沖縄の事を思いながらステージを見て楽しむイベントがなく『ラーメン通堂トロント店』では月1回のオキナワナイトで地元で人気の沖縄歌手の音楽を流して食事を楽しむ事はあったが今回の沖縄ステージを開催にあたりいくつかの課題点がありました。①ステージ演出や構成を立て方がわからない②音響機材が操作できる方いない③開催会場がレンタル相場が高く見つからない、と大きく3つの課題点がありましたが、直子先生や花野さん、莉乃さんのアイデアもありステージ構成も2部構成で行いインストラクター、コーディネーターもゲスト出演し受講者のお二人も緊張の中、大舞台を成功に導きました。他近隣の街から5時間かけて空手道場も2チーム駆けつけトロントで人気の三線グループ『トロロ』とウクレレのコラボセッションもあり会場は暖かい雰囲気にも包まれ感動し涙を流す方が多かったです。前述したとおり3つの課題はまだ残る部分はありますが、これからもステージイベントを開催し指導していただいた琉球舞踊をトロント球陽会の伝統になって欲しいと願います。

5-6 アンケート結果

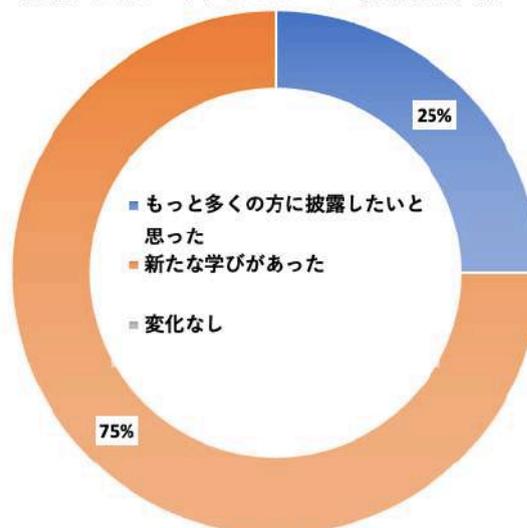
【受講者】 回答数：3名



⑤ 指導時間について感想をお聞かせください



⑥ 指導を受けたことで意識の変化はありましたか？（複数回答可）

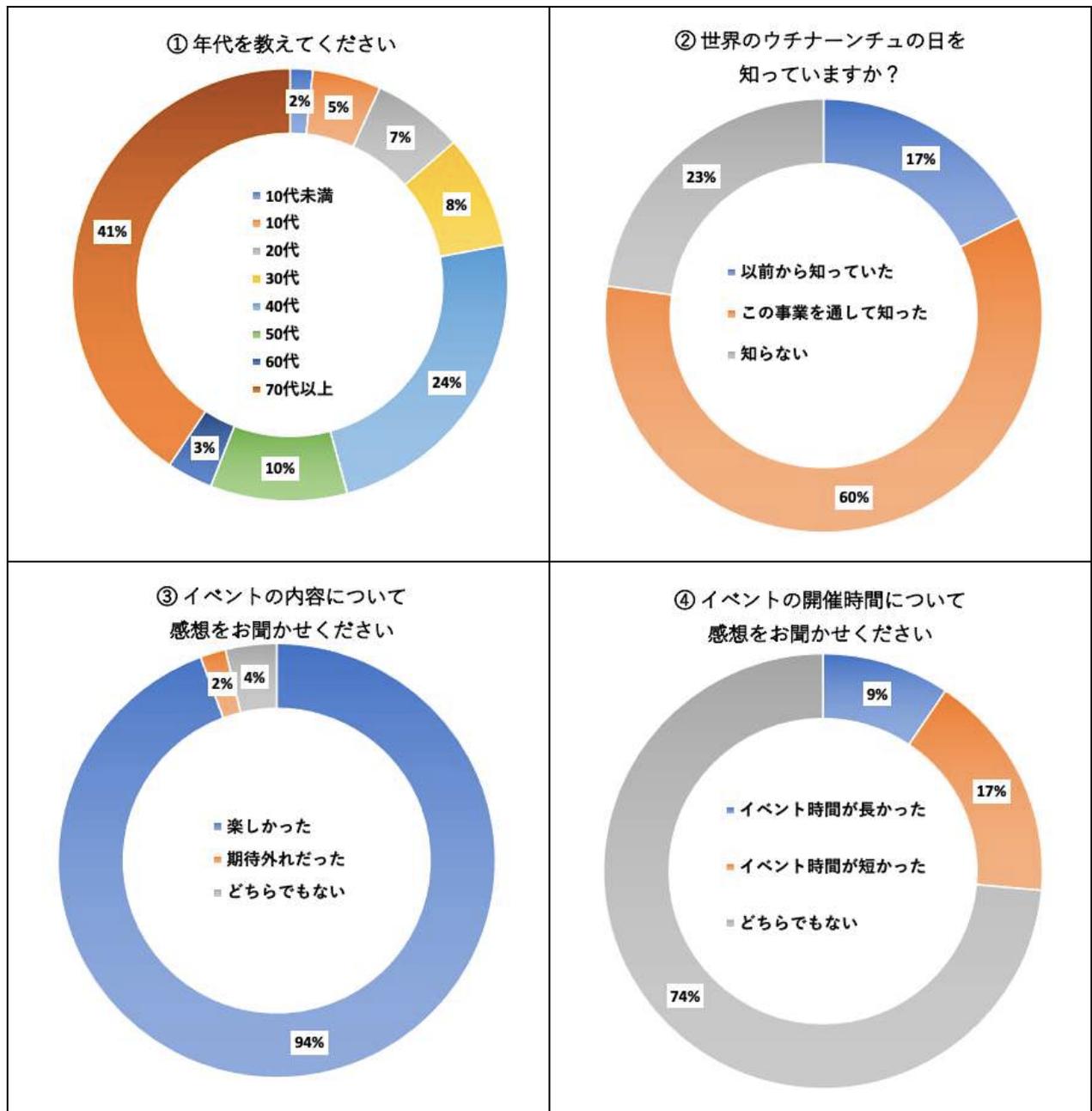


⑦ 一番印象に残っていること、本事業への要望や期待すること、その他の感想などがあれば自由に記載ください。

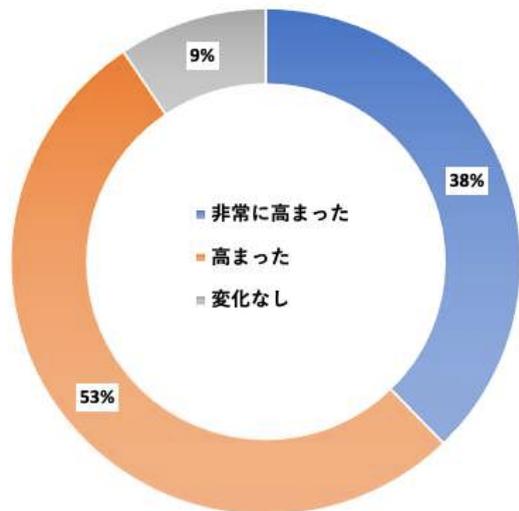
・琉舞の踊り手に会える貴重な機会で、多くのことを学ぶことができた。せめて対面での指導が4～5日あればと思った

・本物のパフォーマーから学ぶ経験ができて嬉しかった！もっと時間があればと思いましたが、今後もさらに学ぶ機会が増えればと思います

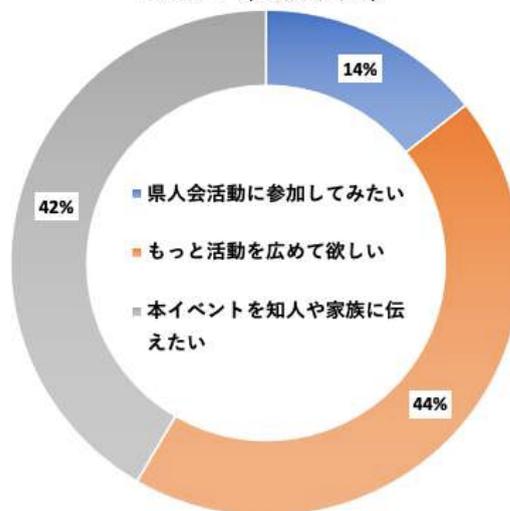
【来場者】 回答数：57名



⑤ イベントを主催する海外県人会の活動や沖縄の文化芸術について興味・関心が高まりましたか？



⑥ イベントに参加して意識の変化はありましたか？（複数回答可）



⑦ 一番印象に残っていること、その他の感想などがあれば自由に記載ください。（抜粋）

- ・ 沖縄出身である事が誇らしく思えたとても素晴らしいイベントでした
- ・ 恋しい日本を感じました。三線を習っていたのでまたやりたくなりました
- ・ 他県出身ですが、沖縄の方々の勢いを感じました
- ・ もっと広く広報をして、大規模な事業でも良かった。これが無料で体験できることに感謝します

6 独自提案

6-1 派遣事業オンラインシンポジウム2024

今年度事業を行った県人会、指導者、コーディネーターおよび県担当者がオンラインで感想をシェア、意見交換することで事業の意義を振り返り、県人会同士の横つながり・絆を強化する目的で実施。

6-2 実施概要

タイトル：派遣事業オンラインシンポジウム2024

日時：2024年12月23日(月) 9:00～11:00

場所：zoomにて

参加者：

総合コーディネーター 平田大一

ネクストコーディネーター

安田辰也

上江洲安秀（龍神伝説）

指導者 新里直子（玉城流玉扇会 新里直子琉舞道場）

フェイエットビル沖縄県人会

会長 アダマン奈理子 マクダウエル聡子 ベバリー綾子

ペンサコーラかりゆしぬ会

会長 ボロウス聡美 ジェシー・ボロウス バーバンク麻里

トロント球陽会

会長 ケン・デイビス 新里花野

沖縄県文化観光スポーツ部交流推進課 内山知洋

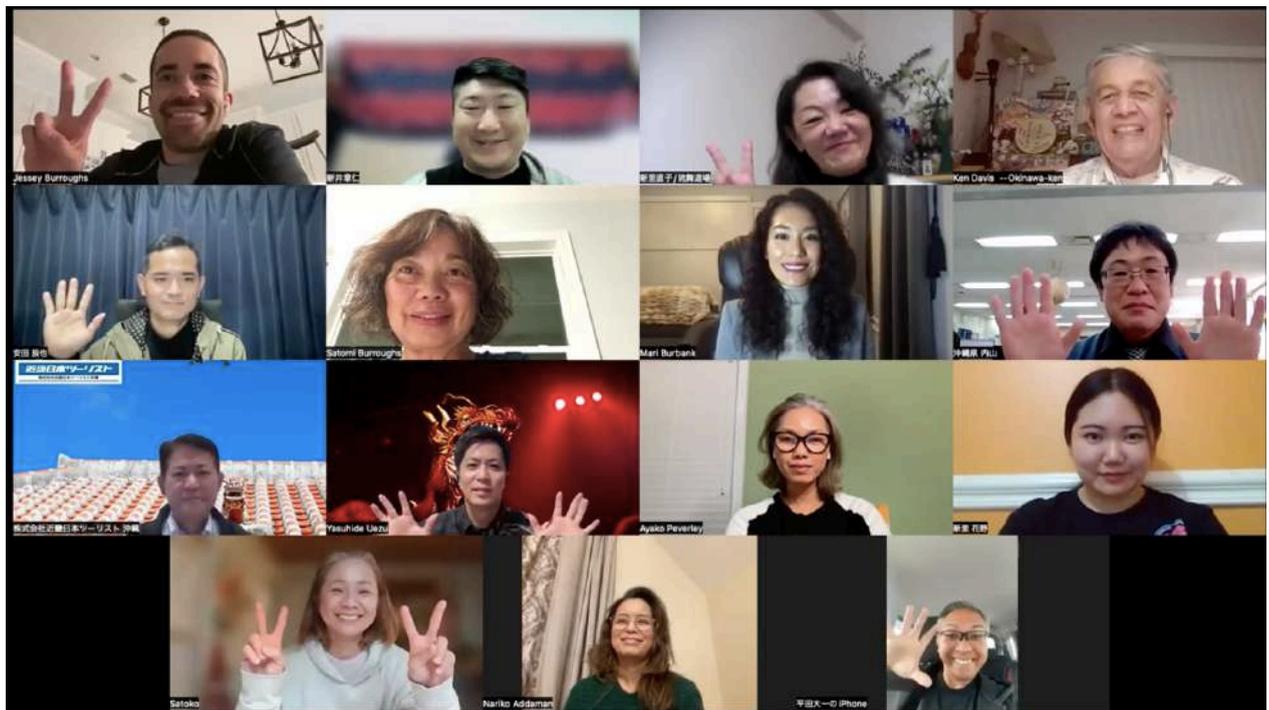
ビデオメッセージ 具志堅州 具志堅快斗（創作芸団レキオス）

進行 新井章仁（受託事業者（株）アイランド・プロジェクト）

プログラム：

- ①司会から案内
- ②平田さん
- ③沖縄県 内山さん
- ④1都市ずつ
 - ・ダイジェスト動画 約6分
 - ・ネクストコーディネーター
 - ・指導者
 - ・県人会 ふりかえりと展望
 - ・平田さん補足
- ⑤クロストーク 進行 平田さん
- ⑥まとめ

所要時間：120分



6-3 話された内容

・派遣事業を終えての感想など（抜粋）

フェイエットビル沖縄県人会

子供たちは誰かに指導してもらうのも、エイサーを見るのも初めてだったので、今後のやる気につながった。時間がもう少し欲しかった。各パートのリーダーを育成する必要がある。芸能文化の継承には、家族や裏方となる人たちの協力が不可欠であると感じた。

ペンサコーラかりゆしぬ会

土台があり、振り付けはしっかり覚えていたが、基礎をしっかり行った。イベントを開催・運営するために必要なさまざまなことを学ぶことができた。活動歴は短いですが、活発的で人との繋がりが大切にしており、リーダーがしっかりいるので今後活動が大きくなっていくだろう。

イベント後、興味を持ってくれる人が増え、太鼓をやりたいと2、3人メンバーが増えた。

トロント球陽会

参加者は2名と少なかったが、琉球舞踊は所作も難しいので、マンツーマン指導できたことが成長につながった。県人会の人はもちろん、トロントの人たちに沖縄の芸能を見せることができたのは大きかった。今回の参加者が、事業が終わった後も活動を継続している。

県人会の活動といえば食事会だけだったので、今回の派遣が今後の活動に良いきっかけになった。

・指導以外の面で（抜粋）

練習やイベントを行う場所の確保や、イベントの広告（集客）はどの県人会も苦労があった。

指導以外での交流や見学など、できる時間があればよかった。

「他の県人会と繋がりを持ち、イベントを行っていくにはどのようにコミュニケーションをとっていけばよいか？」という問いに、

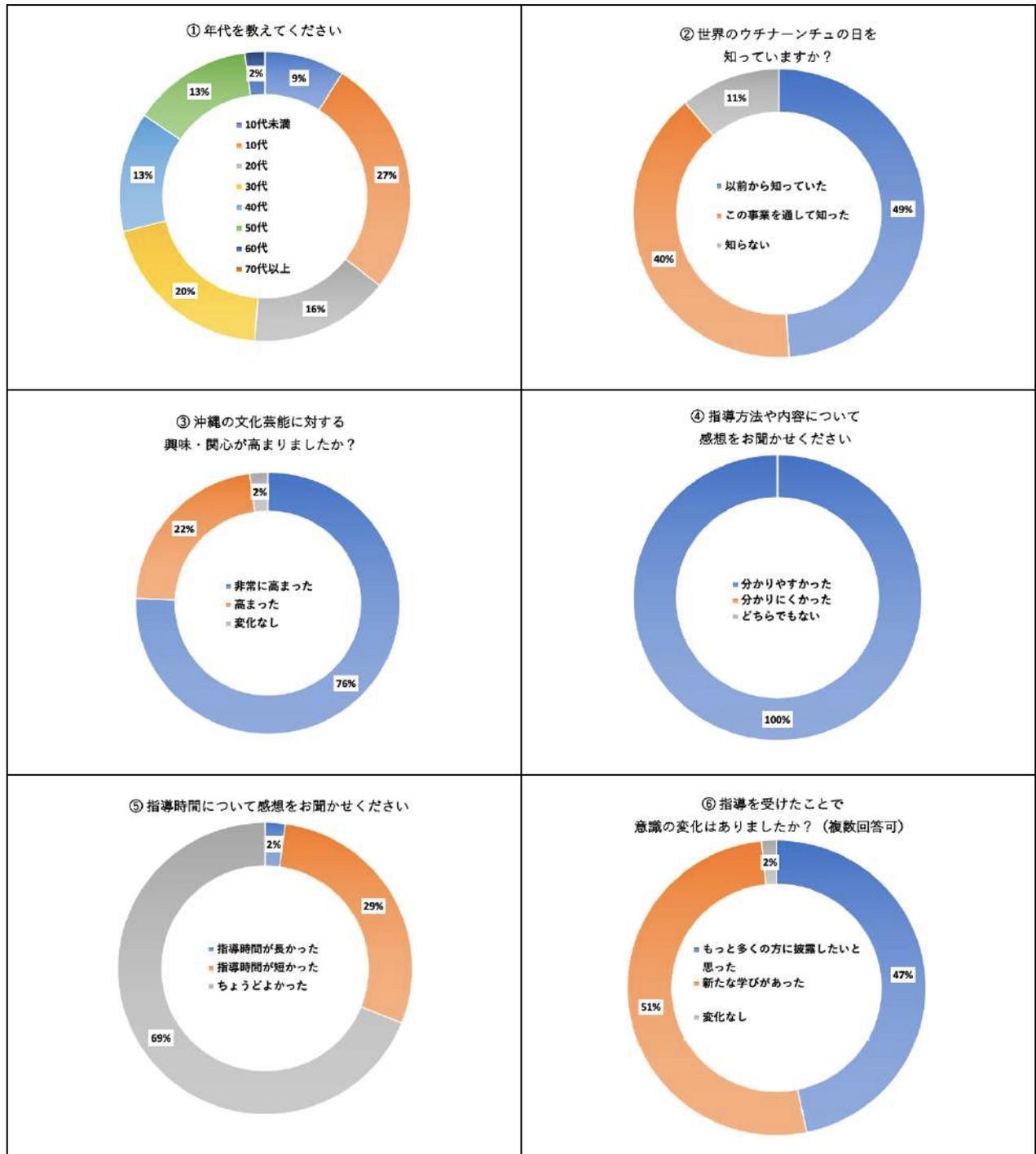
「北米沖縄県人会サミット」での再会と意見交換に期待が寄せられ、幕を閉じた。

※「北米沖縄県人会サミット」は2025.1.7に発生したLA山火事により延期

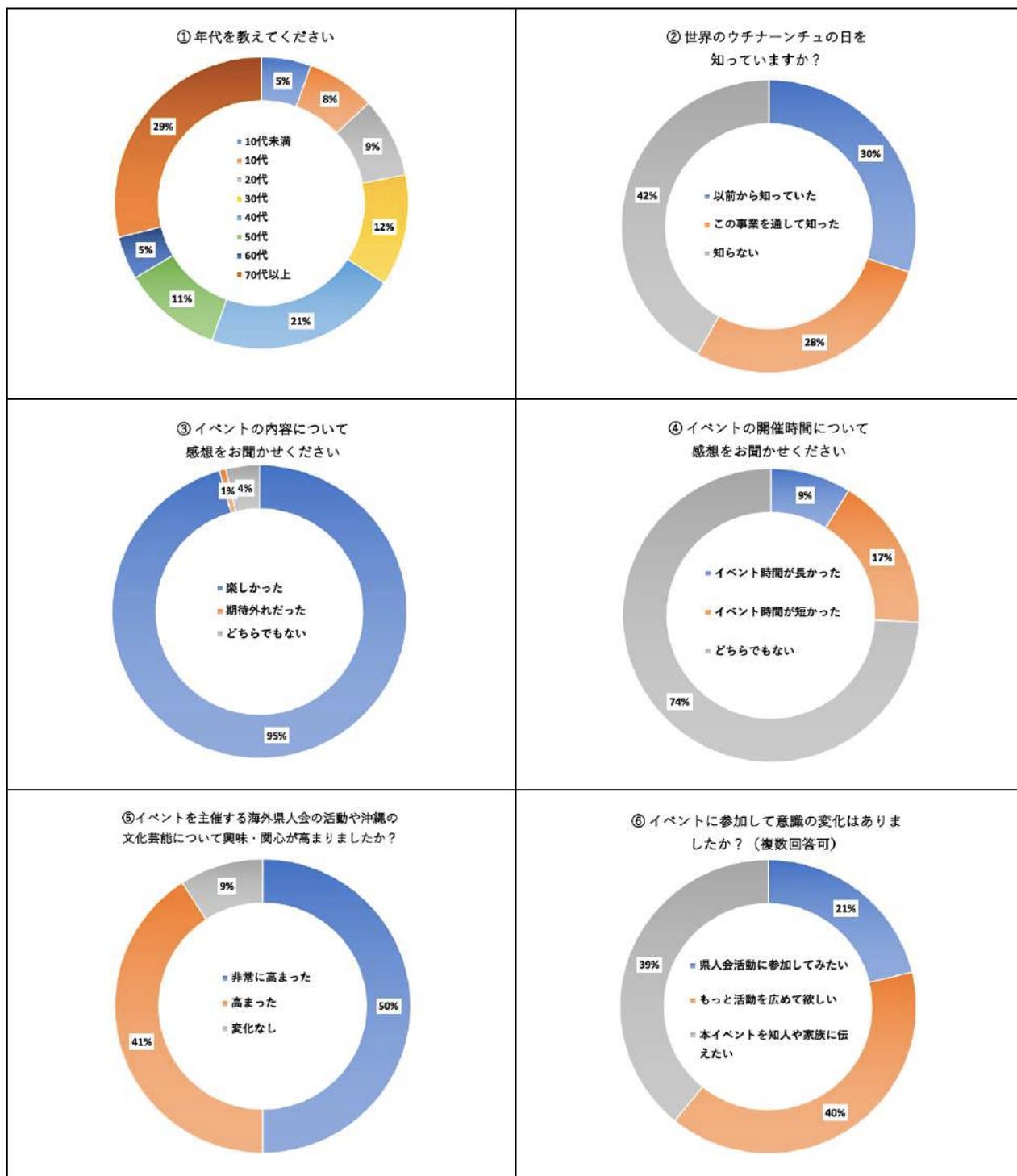
7 事業成果の報告

7-1 アンケート結果（まとめ）

【受講者】 総回答数：45名 フェイエットビル：16名 ペンサコーラ：26名 トロント：3名



【来場者】 回答数：141名 フェイエットビル：36名 ペンサコーラ：48名 トロント：57名



7-2 総括

総合コーディネーターレポート「派遣事業を軸に横展開と更なるネットワーク構築の強化を！」

◆今年の派遣事業は一つの分岐点となると考えていました。それは2027年開催が決定した「第8回 世界のウチナーンチュ大会」に向けて貢献できる事業でありたいと強く考えたからです。そのために幾つか新たな取り組みに着手しました。

◆1つ目は「ネクストコーディネーター制」の導入です。県人会における、次世代、若年層の積極的参加と交流は重要なテーマ。それはジョイントリーダー役のコーディネーターの分野に於いても必要なことです。海外県人会のウチナーネットワーク構築を牽引する人財の育成も図るため2名の若手実演家兼演出家を選定し現地に派遣しました。遠征する芸能指導者と協力しながら県人会の要望に応えるとともに、今後ますます広がり期待できる県会同士のネットワークの更なる横連携拡大に対応できる人財の確保を目指したわけです。その成果は、この報告書にも掲載された安田氏、上江洲氏のコメント、或いは報告用動画などを見て貰えましたらよく分かると思います。

◆2つ目は、この派遣事業を通じて提案してきた課題解決の可能性を感じさせる取り組みが新規事業として走り出したことです。一つが「海外県人会等活動支援事業」です。これは「県会同士の横の連携を図る」ことに重点を置き、複数の県人会や県内国際交流団体等が共同して実施する取り組みを支援する画期的な事業です。その支援先のひとつである豪州の「ゴールドコースト」を軸に開催したイベントは、派遣事業で成果を残した「シドニー、パース」に「メルボルン」を加えた4つの県会が協力してミニウチナーンチュ大会の如く見事な横連携イベントを成功させました。そしてもう一つは「北米沖縄県人会サミット」です。北アメリカを中心に活動する県会のリーダーが一堂に介し、各々が抱える課題の抽出と解決策を話し合う事業です。例えば、僕達が派遣後に開く「オンライン意見交換会」のリアル会議版のようなイメージで実現すればこれもまた画期的な取り組みとなったことでしょう。（本年1月11日にサミットは実施予定でしたが、LAの山火事の影響を受けて延期となりました）

◆そういう意味では、今年の派遣先を北米3つの県人会（フェイエットビル、ペンサコーラ、トロント）に特化した点は実験的で戦略的な位置づけでの派遣事業だったと言えます。派遣事業で「点」と点であった地域が横連携で「線」で結ばれ、やがてサミット開催などで「面」へと広がっていく好循環のストーリーが期待できるからです。あらゆる地域に暮らす「世界のウチナーンチュ」のチムグクルとちむぐるを結ぶ意味を考えると、当該事業のますますの重要性がクローズアップされると同時に、自らのルーツに思いを馳せ、アイデンティティを組成する意味でも「文化のチカラ」が求められている観点から、今後さらに当該派遣事業に備わっている「アイデンティティの構築」「オキナワンスピリッツの継承」「ウチナーネットワークの強化」の重要性が議論されることでしょう。

総合コーディネーター 平田 大一